

「第3期津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(案)」に対する意見募集の結果について

No.	頁	項 目	意 見	意見に対する考え方
1	86	第1章 人口ビジョン 第2 津市の人口の将来展望 4 人口の将来展望	出生率が令和22年に1.6～2.07を参考にとあるが、現状の1.29からどのように上昇させていくかの記述がない。今のままでは絵に書いた餅であり、前提条件を現実味にある数字にするか、上昇する方針や策を記述するべきである。	津市の人口の将来展望に向けた施策の方針については、82ページの「3 人口の将来展望に向けた施策の方針」でお示しし、引き続き自然減対策と社会減対策のアプローチに係る施策を展開し、双方の取組による総合的な底上げを行うものとしております。令和5年12月に国が策定した「こども未来戦略」においては、2030年までが少子化トレンドを反転させるラストチャンスとされており、国をあげて取り組む中、本市においては、「出会いの場の創出拡大と効果的な情報発信」や「妊娠・出産から子育てへと途切れのない支援」をはじめ、第2章の総合戦略に掲げる人口減少対策に取り組むことで現状の1.29から上昇させていくことを想定しております。
2	96	第2章 総合戦略 第3 目標別戦略 基本目標① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	86ページで合計特殊出生率の上昇とあるにも関わらず、96ページでは減少と記述されており矛盾が生じている。	86ページについては、今後さらに人口減少対策に取り組むことで目指す人口の将来展望における将来の合計特殊出生率について記述したものとなっており、96ページ「踏まえるべき主要な観点」の5つ目の項目については、平成18年から現在までの過去の合計特殊出生率の推移について記述したものとなっております。
3	全体	全体	外国人の移民に頼らず、出生率の改善で労働力等を改善すべきである。	人口減少対策は、外国人の移民に頼るようなものではなく、自然減対策と社会減対策の両面から施策を展開し、双方の取組による総合的な底上げを行うこととしております。